



平成 23 年 5 月 20 日

各 位

会社名 株式会社 フレンドリー
代表者名 代表取締役社長 中井豊人
(コード 8209 大証第 2 部)
問合せ先 執行役員経営管理部長 土山能孝
(TEL 072-874-2747)

特別損失の発生および通期業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成 23 年 3 月期第 4 四半期におきまして、特別損失を計上することになりましたのでお知らせするとともに、平成 22 年 11 月 5 日に公表しました平成 23 年 3 月期（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）の通期業績予想と、本日公表しました決算におきまして下記のとおり差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生とその内容

第 4 四半期におきまして、工場の閉鎖に伴い 167 百万円を経営構造改革損失として計上しております。また、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、53 百万円の減損処理を実施し、合計 230 百万円の特別損失を計上いたしました。

2. 平成 23 年 3 月期通期業績予想値と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,300	△650	△660	△1,770	△121.04
今回実績値(B)	10,973	△778	△776	△2,076	△142.03
増 減 額(B-A)	△326	△128	△116	△306	—
増 減 率 (%)	△2.9	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 22 年 3 月期)	12,241	△544	△509	△1,903	△130.15

3. 差異が生じた理由

消費者の予想を超えた節約志向により、主に来店客数の計画を達成できず、売上高・営業利益・経常利益は予想値を下回りました。当期純利益の減少は第 4 四半期に特別損失を計上した為であります。

※上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上